

中国における現地情報

2022年 12月 15日

株式会社フェアコンサルティング

上原 行雲

(中国本土) 企業の外債枠が再び純資産の2.5倍まで拡大

2022年10月25日付けで、中国人民銀行及び国家外貨管理局は、「クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通知」(銀発〔2022〕238号、以下「238号通知」という)を公布し、マクロプルーデンス管理モデルにおけるマクロプルーデンス政策因数を1.00から1.25に引き上げました。これにより、マクロプルーデンス管理モデルを採用し外債調達を行う企業は、域外(香港等を含む)非居住者からの債務枠(以下、「外債枠」という)が純資産の2.0倍から2.5倍に拡大されます。

「238号通知」の目的は、新型コロナウイルスやロックダウンの影響で資金繰りに苦戦する中小企業に対して、外債枠に係る規制を緩和し、クロスボーダー融資等の多様な資金調達手段の確保を図ることにあります。

なお、同様の目的で、2020年3月11日付け銀発〔2020〕64号により、マクロプルーデンス管理モデルにおけるマクロプルーデンス政策因数を1.00から1.25へ引き上げましたが、域外資金の多額の流入を防止する目的で昨年引き上げ前の1.00まで引き下がりました。よって今回の通知は外債枠の再拡大となります。

(前回の内容についてはニュースレターNo.139をご参照ください)

<https://www.faircongrp.com/news/letter/2693/>

現時点においては、企業の外債枠について、マクロプルーデンス管理モデルと従来型の投注差管理モデルとで管理されており、各社は表1の通り、いずれかを選択することになります。

(表1) 企業の外債枠の管理モデル

管理モデル	マクロプルーデンス管理モデル	投注差管理モデル
外債枠	クロスボーダー融資リスク加重 残高上限(表2)	投注差(表3)
対象企業	中資系企業及び外資系企業	外資系企業 (中資系企業は認が必要)
通貨	人民元・外貨	人民元・外貨
期間	短期・中長期	短期・中長期
外債枠管理	残高管理のみ(表2)	発生額管理または残高管理

(表2) マクロプルーデンス管理モデルの外債枠と外債枠管理

外債枠	クロスボーダー融資リスク加重残高上限 $\text{= 企業の純資産額} \times \text{レバレッジ率 (2.0)} \times \text{マクロプルーデンス政策因数}$ (1.00→1.25) 今回の「238号通知」により、マクロプルーデンス政策因数が1.00→1.25に変更となりました。 例えば、純資産が10の会社であれば、外債枠は $10 \times 2.0 \times 1.25 = 25$ となります。																
外債枠管理	$\text{枠内外債利用額} = \Sigma \text{外貨} \cdot \text{人民元融資残高} \times \text{期限リスク因数} \times \text{類別リスク因数} + \Sigma \text{外貨融資残高} \times \text{為替リスク因数}$ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #c8e6c9;"> <th>リスク因数</th> <th>区分</th> <th>因数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">期限リスク因数</td> <td>中長期 (1年超)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>短期 (1年以内)</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">類別リスク因数</td> <td>オンバランス融資</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>オフバランス融資</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>為替リスク因数</td> <td>—</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	リスク因数	区分	因数	期限リスク因数	中長期 (1年超)	1	短期 (1年以内)	1.5	類別リスク因数	オンバランス融資	1	オフバランス融資	1	為替リスク因数	—	0.5
リスク因数	区分	因数															
期限リスク因数	中長期 (1年超)	1															
	短期 (1年以内)	1.5															
類別リスク因数	オンバランス融資	1															
	オフバランス融資	1															
為替リスク因数	—	0.5															

(表3) 投注差管理モデルの外債枠

外債枠	$\text{投注差} = \text{投資総額} - \text{注冊資本}$
投資総額	資本金・借入金等によって調達する企業への総投資額
注冊資本	登録資本金 (実際に資本金として企業に払い込まれた金額)

例えば、投資総額が10で注冊資本が5の場合、外債枠は $10 - 5 = 5$ となります。また外貨建で外債を利用する場合、短期 (1年以内) と長期 (1年超) で管理方法が異なります。外貨建の短期外債の場合は残高管理につき1年以内に完済すれば外債枠は戻ります。しかし、外貨建の長期外債の場合は発生額管理につき完済しても外債枠は戻りません。ただし、地域により規制が異なる可能性があるため、事前に当局と確認する必要があります。

マクロプルーデンス管理モデルでの管理は2016年から全国展開されていますが、投注差管理モデルにより外債を活用していた会社がマクロプルーデンス管理モデルに切り替える場合、過去の投注差管理モデルでの借入をマクロプルーデンス管理モデルで再計算する必要があります。

なお、今回投注差管理モデルの変更はなく、今後の投注差管理モデルに関する追加政策の展開次第では投注差管理モデルの根拠法令の効力が有効でなくなる可能性がありますので、この点もご注意ください。

2022年10月25日付け「クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通知」の日本語訳は下記のとおりです。

中国人民銀行 国家外貨管理局
クロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数の調整に関する通知
銀発〔2022〕 238号

全範囲クロスボーダー融資のマクロプルーデンス管理をさらに改善し、企業や金融機関のクロスボーダー資金源を増やし、資産・負債構造の最適化を促進するため、中国人民銀行および国家外貨管理局は、企業および金融機関のクロスボーダー融資のマクロプルーデンス政策因数調整を1から1.25へ引き上げることを決定しました。

中国人民銀行 国家外貨
 管理局
 2022年10月25日

＜お願い＞上記日本語訳は中国語原文規定の翻訳です。翻訳には正確を期しておりますが、中国語と日本語の表現の相違等から日本語翻訳の内容に誤解が生じる恐れがあります。中国語原文との間に解釈の相違がある場合、中国語原文を参照くださいますようお願いいたします。

＜連載コラム＞

中国なんくるないさ～通信 No. 19

読者の皆さんは、電気自動車を運転または乗ったことがあるでしょうか？

ご存知かも知れませんが、中国におけるEV（PHVを除く）の普及率は日本と比較してとても高く、2021年度における四輪自動車出荷総数におけるEVの占める割合は下記表の通りとなっています。

	生産台数	EV	割合 (%)	出荷台数	EV	割合 (%)
中国	2,608.2万台	294.2万台	11.3%	2,627.5万台	291.6万台	11.1%
日本	784.7万台	-	-	239.9万台	2.1万台	0.9%

特に上海市では街中を走るタクシーや自家用車の多くがNEV(New Energy Vehicle＝EVを含む新エネルギー自動車)となっており、街中でガソリンスタンドを探すのも一苦労です。

EVの先駆者をご存知の通りテスラ自動車が特に有名で、上海市でも特に見かけることが多い車種です。私が上海への赴任当初は、テレビや展示車両でしか見たことのなかったテスラ自動車が街中の至るところを走っている光景を見て、とても驚いた記憶があります。2022年12月現在におけるテスラModel Yの販売価格は288,900人民元であり、上海市の自動車販売促進政策により10,000人民元の購入補助金を申請することができるため、およそ278,900人民元（現在のレートで日本円にして約550万円）という価格設定になっています。

また、上海市で通常のガソリン車を購入する場合、ナンバープレート（＝青ナンバープレート）を抽選方式で購入する必要があります。この抽選は毎月約10%の当選確率であり、かつ当選したら約9万人民元（約180万円、2022年11月実績）を支払うこととなりますが、EVを含む新エネルギー自動車であればナンバープレート（＝緑ナンバ

ープレート) は無料で配られる点も、EV 市場の拡大に影響している一因となっています。

私も電気自動車を運転してみたいですが、まずは次回日本に一時帰国した際に、数年間ペーパードライバーとなっているゴールド免許証を更新しようと思います。

フェアコンサルティング中国
(正緯企業管理諮詢(上海)有限公司)

<p>北京分公司 北京市朝陽区東三環北路甲 19 号楼 嘉盛 SOHO 10 層 A058 室 電話 : +86-10-8524-0758 担当 : 粟村 (AWAMURA) 日本国公認会計士 hi.awamura@faircongrp.com</p>	<p>蘇州分公司 蘇州工業園区華池街 88 号 晉合広場 2 号 11F 1176 室 電話 : +86-512-8916-5176 担当 : 粟村 (AWAMURA) 日本国公認会計士 hi.awamura@faircongrp.com</p>
<p>上海總公司 上海市黄浦区茂名南路 58 号 花園飯店 (上海) 601 室 電話 : +86-21-6473-5450 担当 : 上原 (UEHARA) 日本国公認会計士 ik.uehara@faircongrp.com</p>	<p>成都分公司 四川省成都市成華区双慶路 10 号 華潤大厦 32 層 3201 室 電話 : +86-28-6287-7518 担当 : 上原 (UEHARA) 日本国公認会計士 ik.uehara@faircongrp.com</p>
<p>広州分公司 広州市天河区珠江新城珠江東路 12 号 高德置地冬広場 H 座 1501 室 V80 電話 : +86-20-3268-9966 担当 : 古矢 (FURUYA) 日本国公認会計士 yo.furuya@faircongrp.com</p>	<p>深セン分公司 深セン市福田区深南大道 4019 号 航天大厦 A 座 610 室 電話 : +86-755-8252-8290 担当 : 古矢 (FURUYA) 日本国公認会計士 yo.furuya@faircongrp.com</p>